

自然と人間 | 自然環境の調査と環境保全

1 単元の概要

今まで身近に見られた動物や植物のなかには、最近その姿が見られなくなってきたものもいます。このように私たちを取り巻く自然環境は年々変化しています。このような現状から、自然環境に関心を持ち、身近な環境から地球規模の環境問題について理解していきましょう。また、環境を守るためにどうすればよいかを、今まで学習してきたことを基にみんなで考えていきましょう。

2 学習のねらいと手だて

- 身近な自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係について理解させる。
- 北九州の希少野生生物を題材に自然と人間生活との関わり方について総合的に考えることができるようにする。



自然発見館のジオラマ

3 指導計画（総時数5時間）

学習活動と内容	○指導・支援上の留意点 ◆展示物など	時間
I 自然環境の調べ方を考えよう。 ① どのような方法があるか ② なぜその方法を使うのか		1時間
II 身近な自然を調べよう。 学習① 岩屋海岸で生活する生物を調べよう。 ① 生物名 ② 生物の生活環境と特徴 ③ 調べたい生物のスケッチをしよう。	博物館での学習 ◆ 自然発見館の岩屋海岸のジオラマや展示資料、情報館 ○ 「学校団体利用のガイドブック」等から、関連する内容を調べる。	1時間
III 北九州の希少野生生物を調べよう。 ① どんな生物がいるか ② 福岡県(全国)でのカテゴリー ③ 危機の状況 ④ 希少野生生物となった理由	○ 「北九州市の希少野生生物」等を調べる。	1時間
IV 希少野生生物を探してみよう。 学習② 調べた生物の標本を見つけスケッチしよう。	博物館での学習 ◆ 自然発見館、生命の多様性館の展示資料、情報館の資料	1時間
V 自然と人間生活とのかかわりについて考えよう。	○ 博物館で調べた結果から自然と人間の関わりについて考えさせる。	1時間

4 学習展開例

学習活動	○指導・支援上の留意点	◆展示物など
<p>学習① 岩屋海岸で生活する生物を調べよう。</p>		
I 岩屋海岸のジオラマを見る。	○ どのような生物が生活しているのかを事前の学習から考えさせる。	◆自然発見館「岩屋海岸」
II 北九州の磯と砂浜の生物を使い、自分が調べる動物を決める。	○ 生物が生息している生活環境や特徴などに着目して選ぶように指示する。	◆北九州の磯と砂浜の生物
III 各自で決めた生物の生活環境と特徴を自然発見館や情報館の資料を使って調べる。	○ 博物館でしか得られない情報を集め、まとめは学校で行うことを説明する。 ○ 生物の生活環境や特徴がわかるように情報集めの指示をする。	◆自然発見館や情報館の資料
<p>学習② 調べた生物の標本を見つけスケッチしよう。</p>		
I 調べた希少野生生物の標本・はく製のどの場所にあるか予想させ、移動する。	○ 予想した場所になければ他の場所に移動して探すよう指示する。 ○ 調べたい生物だけでなく、他の標本やはく製にも注意を払わせる。	◆自然発見館や生命の多様性館の展示資料
II 調べた希少野生生物の実物をスケッチする。	○ 細かなところまで注意を払ってスケッチさせ、さらに詳しく調べたい生徒は情報館などで情報を収集させる。	◆自然発見館や生命の多様性館の展示資料 情報館の資料
III なぜ希少になってしまったのか話し合う。	○ 各自調べた理由を発表させ、北九州の自然と人間生活との関わりを考えさせる。	

5 博物館での学習

学習1 岩屋海岸で生活する生物を調べよう。

博物館での学習
1時間

自然発見館は、北九州地域とその周辺で観察できる生物などを、ジオラマを中心とした各コーナーで紹介しています。そのジオラマと展示資料を使って岩屋海岸でどのような生物が生活しているかを調べよう。調べたい生物が決まったら、自然発見館や情報館の資料を使って、調べたい生物の生活環境と特徴について詳しく調べよう。まわりの生活環境とそこで生活する生物の特徴との密接な関係から、環境によって生物が生かされていることが理解できます。



自然発見館「岩屋海岸」



情報館

学習2 調べた生物の標本を見つけスケッチしよう。

博物館での学習
1時間

アースモールの奥にある生命の多様性館には、動物のはく製、植物、昆虫など現在の地球上に生活している多種多様な生物の標本が展示しています。自分が調べた希少野生生物を、生命の多様性館や自然発見館などから探し、その生物の大きさや色、形などの特徴を記録し、実物標本を参考にスケッチします。絶滅しかけている生物のはく製や標本をスケッチすることで、観察力や洞察力を養うことができます。また、探す活動の過程で、大きさや形も様々な生物が、私たちと共に暮らしていることに気付かせます。



生命の多様性館



自然発見館「カブトガニ」

1 岩屋海岸で生活する生物を調べよう

<p>生物名 例)フナムシ</p> <p>生物の生活環境と生物の特徴 ※海岸(磯)に住む生物の特徴 が記入されていればよい。</p>	<p>スケッチ</p> <p>※スケッチの基本が押さえられており、生物の特徴(大きさ、色、形など)が記入されていればよい。</p>
--	---

2 調べた希少野生生物の標本を見つけ、実物をスケッチしよう

見つけた場所：自然発見館・生命の多様性館・その他()

<p>生物名 例)ズグロカモメ</p> <p>福岡県(全国)でのカテゴリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県 絶滅危惧 IB類 ・全国 絶滅危惧 II類 <p>危惧の状況</p> <p>世界の繁殖成鳥総数は約5000～8000羽で種の存続が危ぶまれている。</p> <p>分類</p> <p>鳥類</p> <p>分布</p> <p>主に九州、四国などの干潟</p>	<p>スケッチ</p> <p>※スケッチの基本が押さえられており、生物の特徴(大きさ、色、形など)が記入されていればよい。</p> <p>希少になってしまった理由</p> <p>繁殖地の塩性湿地が消滅し、エビ養殖場やヨシ原の片隅で繁殖する状況であり、絶望的である。</p>
--	--

学校 3年 組